

としまだより 1月

令和4年度
鳥飼東小学校
図書室



新学期がはじまりました。

1年で一番寒い時期ですが、お休みモードから、学校モードに
気持ちを切り替えられているでしょうか。

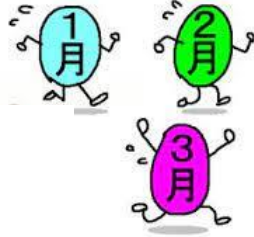
「一月往ぬる二月逃げる三月去る」とは、三月まで行事が

多く、またたく間にすぎてしまうことを、語呂合わせで

おもしろい言葉、「故事俗信ことわざ大事典」よりです。

そんなあわただしい日々ですが、1日1日をたいせつにすごしていきましょう。

今年も、みなさんがすばらしい本と出会えますように。。



あたらしい本がとどきました。

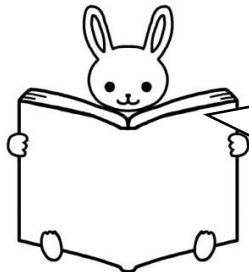
あたらしい本が93さつ、とどきました。

うらめんにリストを、のせています。

ふゆやすみにかりていた本をかえしにきたひとから、かしだしをはじめています。

かしだしカウンター前の、まるいテーブルにあたらしい本のコーナーができていますので、

お気に入りの1さつを、見つけに図書室へ足をはこんでみてね。



新刊 (=あたらしい本) のよやくは、
2月からうけつけます。
かしだしカウンターで、もうしで
てください。



ほん 本のしょうかい

～ あたらしくはいった本より～

学校での居場所をなくし、閉じこもっていた“こころ”の目の前で、
ある日突然部屋の鏡がひかりはじめた。

かがやく鏡をくぐりぬけた先にあったのは、城のような建物。

そこにはオオカミの面の少女と6人のこどもたちがいた。

みんながあつめられた目的とは。。(出版社紹介より)



かがみの孤城 / 辻村深月 著

このふゆやすみに、映画化され、観に行った人もいられるかもしれません。

2018年に本屋大賞にえらばれベストセラーになった本が、

児童書で登場。小学生から読めるようになりました。

ストーリーのおもしろさで、長さを感じず、

物語にひきこまれます。

高学年から。



としましつからのおねがい

ふゆやすみにかりた本をなるべくはやくかえしにきましょう。

1ねんせいから6年生までいろんな人が利用するとしましつには

たくさんのルールがあります。

みんなが、きもちよく図書室をえるようにルールをまもって、利用しましょう。



うらめんにつづく

